

いろいろな「農泊」

バケーションレンタル(バケレン)

空き家や古民家を改修した滞在施設は、一棟貸しLOKの施設も増えており、家族や仲間とシェアすれば、リーズナブルにバケーションを楽しめます。



リモートワーク



多くの地域でWi-Fi環境の整備も進んでいます。のどかでリラックスできる環境で、快適なリモートワークはいかがでしょう？

ワーケーション

リモートワークだけではなく、仕事の後やお休みに、地域でのさまざまなアクティビティを楽しむ「農山漁村版ワーケーション」も楽しめます。



チームビルディング



組織活性の方法として企業等で注目される「チームビルディング」。農山漁村では自然や文化体験を通じて取り組むことができます。

移住・定住のプレステージ

農山漁村への移住・定住をお考えの方へ、宿泊・食・体験を通して地域の方と交流を図る農泊は、最初のステップとしてオススメです。



「農泊」について知りたい

どんな農泊地域があるの？



農泊ポータルサイト

農林水産省が支援した農泊地域で楽しめる宿泊・食事・体験の情報が満載です。ジャンル別の検索メニューも豊富。



農泊ポータルサイト

農泊地域ってどんなところなの？



農林水産省・農泊ページ

これまで国内の農泊地域を紹介した動画や農泊関係の交付金などの情報も掲載されています。「農泊を始めてみたい」という方もぜひアクセスしてください。

農泊に関するお問合せ先：
農林水産省 農村政策部 都市農村交流課 農泊推進室 TEL:03-3502-6002



農林水産省 農泊ページ MAFF

ステイ、ノウハク。新しい故郷を冒険しよう



農泊で過ごす新しい贅沢

はじめまして
まだ私のことを誰も知らない、あたらしい故郷
いつもと違う朝、澄んだ空気
とれたての食材で作られた朝食をゆっくりいただく
ここに住む人と話し、自然の中で体を動かし、
ここで受け継がれている伝統を体験する
大人になった私も、まだ知らないことが多い
自分の足で訪れ、自分の手で触れた経験は、
明日へのエネルギーに、きっとなる
ステイ、ノウハク=農泊
あたらしい故郷があなたを待っています



農泊地域もSDGsへの取組を進めております

「農泊」とは

農山漁村地域に宿泊し、滞在中に豊かな地域資源を活用した食事や体験等を地域との交流の中で楽しむ「農山漁村滞在型旅行」です。

宿



農山漁村には旅館・ホテルに加えて、農山漁家民宿があります。近年では古民家を改修した居心地の良い宿も増えてきています。



食



農山漁村の最大の魅力は、豊かな自然に育まれた旬の食材を新鮮なまま味わえること。また、ご当地ならではの郷土料理も楽しめます。

体験



自然、文化、歴史、農林漁業と地域にあるすべてがアクティビティになるのが農泊地域です。丸ごと楽しみましょう。



下津井 sea village project



【下津井シーブレッジプロジェクト／岡山県倉敷市】

「未来に残したい漁業漁村の歴史文化材百選」に選定された北前船の寄港地『下津井』を舞台に、地元漁業体験やタコ・のり・ワカメなどその他地元食材を使った特産品開発、料理店による地元食材を使ったキャンペーンなどの活動を通し、漁業者及び関係者の所得向上、地域の自立発展を目指して活動中。

下津井ダコ

潮の流れが速いこの海域で育ったタコは身がしまってプリプリの食感！干しタコは下津井の冬の風物詩。地元の飲食店で食べられるほか、土日を中心に漁港付近で近所のお母さんたちが作る、郷土料理の「たこ飯」などが販売される。

《特徴的な取組》

- ・ 下津井 漁業体験ツアー開発
(タコ、ワカメ採取、瀬戸内島巡りなど)
- ・ 料理店企画による地元食材の活用と会員募集やSNSによる固定客獲得の取組
- ・ 地元情報ホームページ開設
- ・ 『旧中西家再生プロジェクト』
倉敷市が指定する「下津井町並保存地区」の代表的な建造物である「旧中西家」を改修した古民家宿「下津井宿 風待汐待」の整備。



魚干しもの体験会

戦略会議の実施



下津井シーブレッジへは

児島ICから約4km

所要時間約7分

与島PAから約15分



NEW!! 立寄りスポット ひもついで横丁



2024年3月24日にオープンした下津井の新スポット！新鮮な魚介類やワカメなどの海産物を販売するほか、不定期でイベントも開催しています。購入した魚は無料でお刺身などにも調理してもらえます。



しもついやど
かぜまちしおまち
下津井宿 風待汐待



瀬戸大橋の袂に位置する下津井地区は、古くから北前船の寄港地として知られ、岡山県指定の「下津井町並み保存地区」となっています。しかし、風光明媚なこの地も少子高齢化による人口減少や空き家の増加は深刻な状態となっており、そこへ一石を投じるため農山漁村振興交付金を活用し、古民家風の空き家を改修した一棟貸しの宿泊施設「下津井宿 風待汐待」として2024年7月に新装オープン。



写真：田中 園子

バイカーやサイクリストの交流の場とするため、リビングからバイクガレージを望む設計とするとともに、インバウンド観光客の利用を視野に入れ、囲炉裏テーブルを設置した畳敷きのリビングでの和の空間を提供。

一棟貸しスタイルの宿で4部屋・最大10名が宿泊可能。人数が増えるほどお得に泊まれ、グループでの集まりにも最適。ちょっとした買い出しに便利な軽自動車の無償貸出もある。

◆今後の展望◆

オープンしたての現時点は素泊まりのみの対応だが、地元の飲食店や漁協・魚屋と協力して食事提供も順次スタート予定。地域資源を活用した体験プログラムやこの地に受け継がれる歴史文化も訪れる人に楽しんでいただき、「風待汐待」が訪問者と地域住民との交流拠点となるよう運営をしていく。



改修前古民家



改修後



下津井の干しタコ



むかし下津井回船問屋



鷲羽山・瀬戸大橋



瀬戸大橋観光船



公式HP

中国地方の農泊地域一覧(農泊推進対策採択地域)

島根県 (15地区)

- ①大根島農業体験推進協議会
- ②水の都まつえ観光魅力化協議会
- ③浜田市ツーリズム協議会
- ④きんさい村弥栄協議会
- ⑤平田農泊推進協議会
- ⑥さんへ農のある暮らし協議会
- ⑦石見銀山代官所跡周辺域活性化協議会
- ⑧ゆのつ民泊・体験事業協議会
- ⑨奥出雲町農泊推進協議会
- ⑩日貴地区活性化協議会
- ⑪邑南町田舎ツーリズム推進研究会
- ⑫津和野町農泊推進協議会
- ⑬島泊推進協議会
- ⑭隠岐・西ノ島フィッシャーマンズステイ & アクティビティ推進協議会
- ⑮都万地区農泊推進協議会

広島県 (14地区)

- ①未来へのとびしマール構想協議会
- ②島まるごとユニバーシティ協議会
- ③倉橋交流拠点構想推進協議会
- ④竹原・大崎上島農泊推進協議会
- ⑤しまなみアーキラインプロジェクト運営委員会
- ⑥鞆の浦農泊推進協議会
- ⑦一般社団法人天領上下まちづくりの会
- ⑧楽しいふるさと川西協議会
- ⑨庄原古民家ステイ推進協議会
- ⑩心のふるさと県央協議会
- ⑪安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会
- ⑫北広島町農山村体験推進協議会
- ⑬世羅高原6次産業推進協議会
- ⑭神石高原町観光による地域づくり協議会

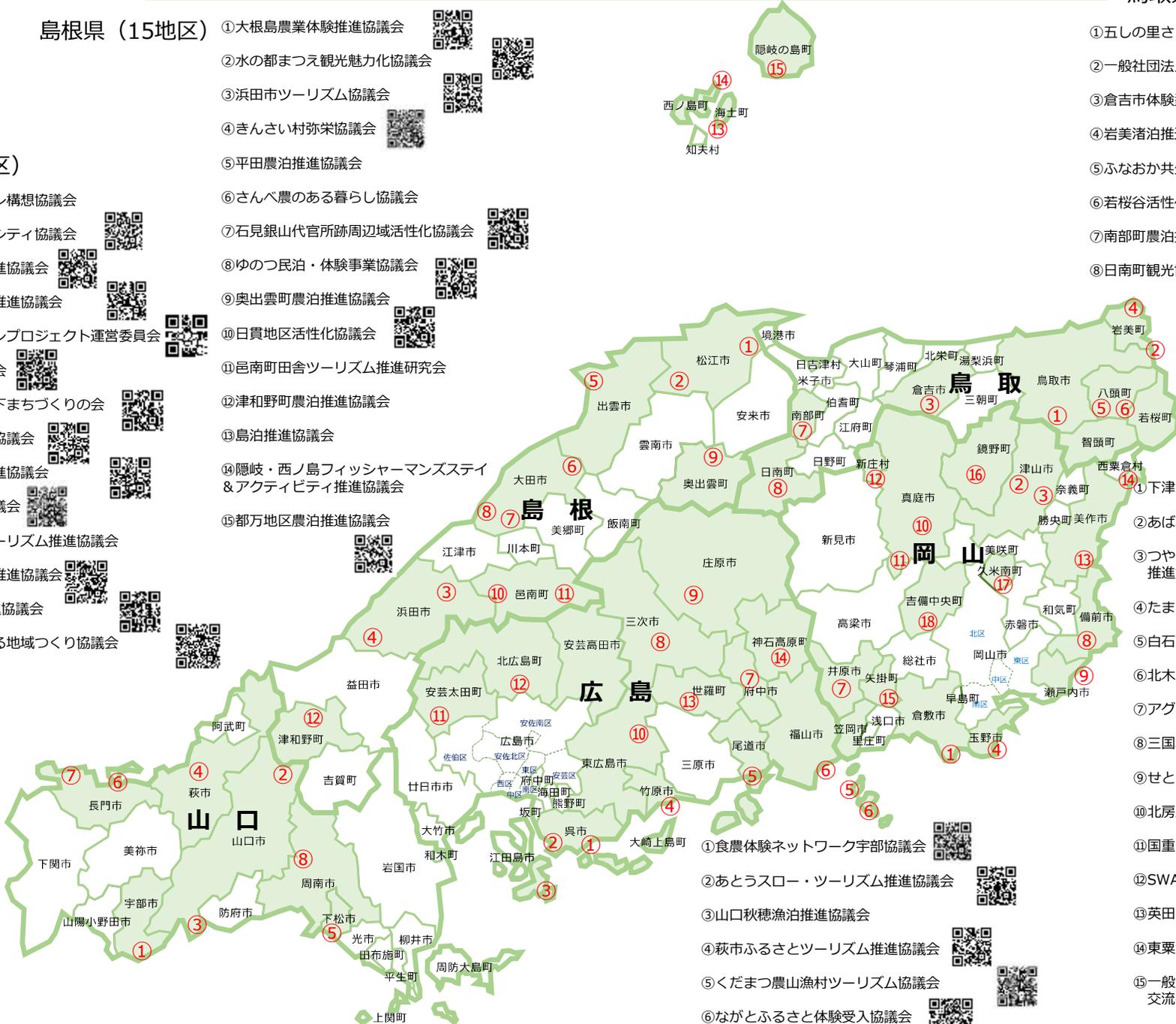
鳥取県 (8地区)

- ①五しの里さじ地域協議会
- ②一般社団法人麒麟のまち観光局
- ③倉吉市体験型教育旅行誘致協議会
- ④岩美渚泊推進協議会
- ⑤ふなおか共生の里づくり推進協議会
- ⑥若桜谷活性化協議会
- ⑦南部町農泊推進協議会
- ⑧日南町観光協会

岡山県 (18地区)

- ①下津井sea village project
- ②あば村農泊推進機構
- ③つやま農業生産物ブランド化推進協議会
- ④たまの農山漁村魅力向上推進協議会
- ⑤白石島農泊推進協議会
- ⑥北木島活性化プロジェクト協議会
- ⑦アグリ美星リゾート
- ⑧三国地区農泊振興協議会
- ⑨せとうち牛窓玉津農泊推進協議会
- ⑩北房農泊推進協議会
- ⑪国重の森活性化協議会
- ⑫SWA地域協議会
- ⑬英田上山棚田ツーリズム協議会
- ⑭東栗倉農泊推進協議会
- ⑮一般財団法人矢掛町観光交流推進機構
- ⑯健康の町かがみのプロモーション本部
- ⑰上初みろく農場協議会
- ⑱吉備中央町農家民宿推進協議会

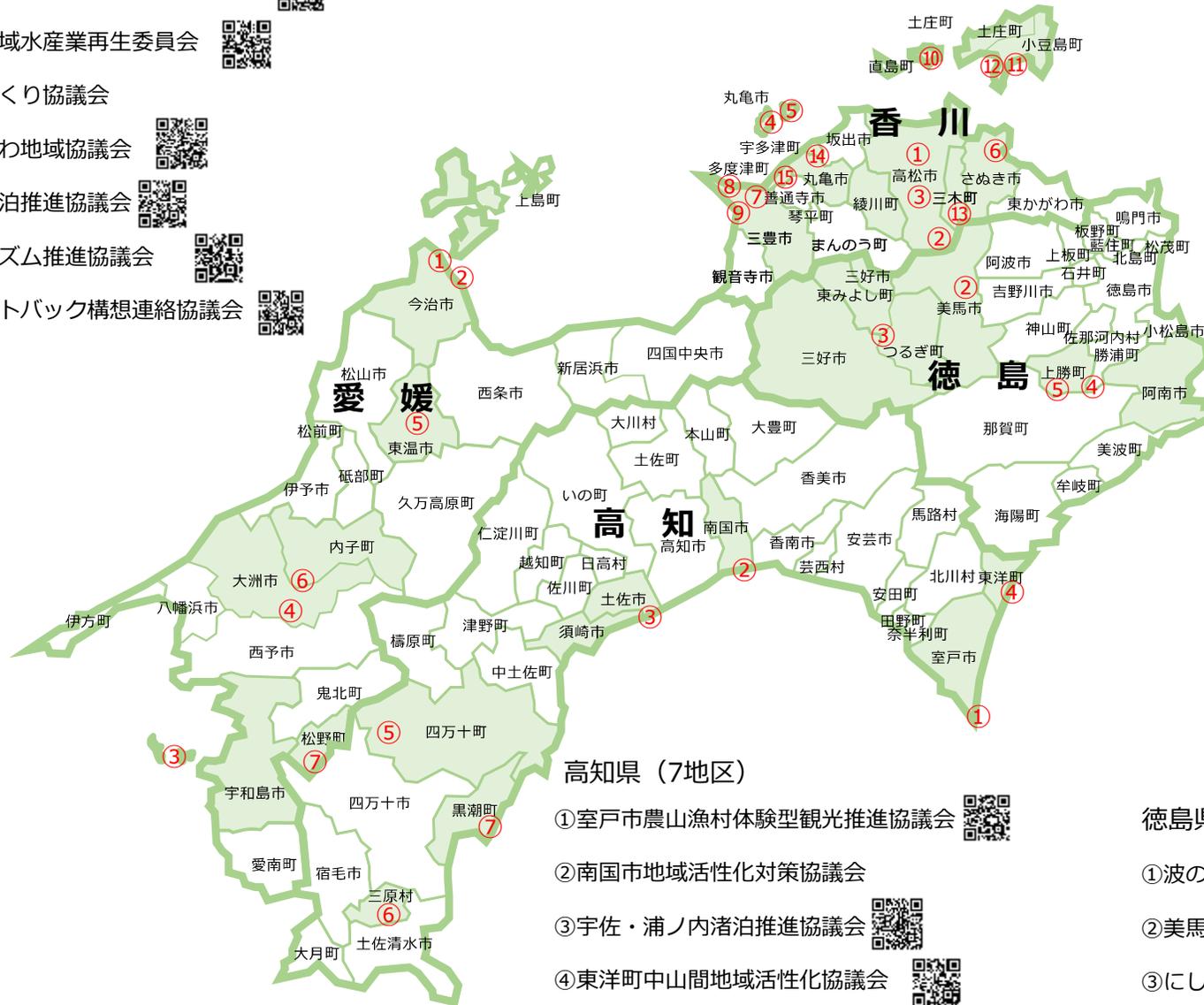
山口県 (8地区)



四国地方の農泊地域一覽(農泊推進対策採択地域)

愛媛県 (7地区)

- ①しまなみスローサイクリング協議会 
- ②桜井地区地域水産業再生委員会 
- ③蔦淵地域づくり協議会
- ④元気おおかわ地域協議会 
- ⑤かわうち農泊推進協議会 
- ⑥内子ツーリズム推進協議会 
- ⑦森の国アウトバック構想連絡協議会 



香川県 (15地区)

- ①西植田地区活性化協議会 
- ②特定非営利活動法人しおのえ 
- ③高松農水連携協議会 
- ④讃岐広島・小手島・手島活性化協議会 
- ⑤本島・さかな部活性化協議会 
- ⑥さめき市津田地区漁業活性化協議会
- ⑦みとよニューツーリズム推進協議会
- ⑧ししま・みとよ活性化協議会
- ⑨仁尾農泊推進協議会
- ⑩てしま農泊推進協議会 
- ⑪海のししまプロジェクト協議会 
- ⑫三都半島農泊推進協議会 
- ⑬小蓑農泊推進協議会 
- ⑭宇多津古今をつなぐ協議会 
- ⑮地域活性化協議会瀬戸内ユニオン 

高知県 (7地区)

- ①室戸市農山漁村体験型観光推進協議会 
- ②南国市地域活性化対策協議会
- ③宇佐・浦ノ内渚泊推進協議会 
- ④東洋町中山間地域活性化協議会 
- ⑤しまんと分校連絡協議会
- ⑥三原村農泊推進協議会
- ⑦黒潮町観光ネットワーク 

徳島県 (5地区)

- ①波のりイシマ協議会 
- ②美馬市特産品・農泊連携推進協議会
- ③にし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会 
- ④上勝ビジターセンター設立協議会 
- ⑤いりどり山Mass Compass協議会

【せとうち牛窓玉津農泊推進協議会】

瀬戸内市はかつては刀の一大産地でした。長船町にある備前長船刀剣博物館には多くのインバウンド観光客が訪れています。現代刀の職人が常駐する工房見学や慈眼院での座禅体験など、日本の文化の体験や、ゆっくりと漁村での時間を過ごすことが人気です。

また、牛窓町は「日本のエーゲ海」と称されており、多島美の景観が美しいです。現在は、訪れた観光客が地域に滞在するためのコンテンツ作りを目指し活動されています。



泊

—おすすめの宿泊施設

別邸 VILLA SHINOBI

頭島に位置し、瀬戸内海を一望できる宿泊施設です。伝統的な武家屋敷の造りに西洋のエッセンスを融合したデザインで、館内にはサウナや大型のプロジェクタースクリーンをはじめ、釣りや底引き網で獲れた魚を調理できる設備が整っています。

アクセス：JR日生駅からバスで10分

最大収容人数：8名



食



—おすすめの食事

玉津食堂

玉津港にある完全予約制のレストランです。とれたての魚が味わえると地域に愛される食堂です。牡蠣漁師の家族が手掛ける牡蠣料理も人気です。

アクセス：尾久駅から車で20分

—おすすめの体験

備前黒皮かぼちゃを味わう

備前黒皮かぼちゃは、一時は栽培が途絶えていました。10年前から、復活を目指す取り組みがスタートし、昨年には岡山県で2番目となるGI（地理的表示）保護制度に登録されました。備前黒皮かぼちゃを使ったぜんざいかぼちゃや白玉餅づくりが体験できます。



体
験

【にし阿波～剣山・吉野川観光圏協議会】

にし阿波は、2市2町から形成されており、4地域で様々な体験が整備されています。「観光圏」「SAVOR JAPAN」「世界農業遺産」3つの認定を受けている日本で唯一の地域です。傾斜地集落での農作業体験や大歩危のラフティング、剣山登山など雄大な自然が体感できる体験が人気です。現在は、インバウンド観光客に対応した農林漁家民宿を増やすことや、各地の魅力を効果的に発信し、農林漁家民宿や体験型教育旅行の受入拡大の促進を目指し、活動されています。



泊

—おすすめの宿泊施設

カジャ祖谷浪漫亭

日本三大秘境のひとつ祖谷にある築60年以上の古民家のゲストハウスです。囲炉裏や五右衛門風呂があり、昔暮らしを体験できます。お酒を奉納することで、好きなだけお酒が試飲できる「酒神殿」がゲストに好評です。

アクセス：大歩危駅から車で40分

最大収容人数：8名（1日1組貸切）



食

—郷土食

そば米雑炊

ソバの実を粒の形で調理した郷土料理です。つるぎ町での雑穀料理作り体験や、自宅で作るキットが販売されています。



—おすすめのレストラン

折名邸 半田そうめん食堂

地域の味を新しい楽しみ方とともに次世代に届けたいという思いでオープン。伝統工芸である半田漆器のお椀で提供されます。



体
験

—おすすめの体験

猿飼集落 そばの花咲く観光農園

猿飼集落は急傾斜地の集落で、世界農業遺産「傾斜地農耕システム」に認定されています。毎年10月ごろには、畑一面がそばの白い花で埋め尽くされます。

アクセス：美馬ICから車で30分



【萩市ふるさとツーリズム推進協議会】

萩は、日本海と山々、川と豊かな自然が広がっています。2015年には、城下町や松下村塾など「明治日本の産業革命遺産」が世界文化遺産に登録されました。まちじゅう博物館と称され、まちのあちこちに文化財が見られます。武家屋敷や渡し船など当時の佇まいが今も残されており、江戸時代にタイムスリップしたかのようなまち並みが広がっています。現在は、インバウンド観光客へ歴史と自然の双方を体験できるコンテンツの提供を目指し、活動されています。



泊

—農泊体験

萩では、地域での暮らしを味わうことのできるホームステイ型の宿泊が人気です。ホストと夕食「萩ごはん」を一緒に調理し、農作業や薪割りなどが体験できます。ホームステイ先によって体験内容は様々で、体験希望について相談することも可能です。

受入人数：1家庭あたり2～5名



体験

—おすすめの体験

かまど&押し寿司作り体験

築100年以上の古民家で、地元の女性と押し寿司を作ります。季節の汁物と副菜とともに、囲炉裏の周りや縁側でいただきます。希望に応じて、農泊や野菜の収穫体験も可能です。

所要時間：2時間

体験可能人数：2～5名



—おすすめの体験

FURUSATOサイクリング

萩の日本酒づくり-SAKE-をテーマに、酒米の田んぼやとう精工場、酒蔵などをE-bikeで巡ります。

所要時間：3時間半

体験可能人数：2名～8名



【てしま農泊推進協議会】

豊島には豊島美術館や、3年に一度、豊島を含む近隣の島々と高松市を会場とする瀬戸内国際芸術祭の開催によって、多くのインバウンド観光客が訪れています。古民家を改修した宿泊施設をはじめ、弁当店や食堂、地引網体験、サイクリングツアーなど、多くの島民が農泊事業に関わっています。現在は、遊休資産を活用した古民家宿や、地域食材を活用できる農家レストランの開設などを通して、継続的な地域の観光需要の開発を目指し活動されています。



—おすすめの宿泊施設

とくと

築80年の古民家を改修し、2021年にオープン。釜戸や囲炉裏があり、古き良き日本の文化を楽しむことができます。

アクセス：家浦港から徒歩15分
最大収容人数：本館8名、別館6名



泊

食



—おすすめの食事

豊島のおばちゃんの店 うらら

豊島に住む女性2人が作る手作りのお弁当。地元でとれた旬の魚や野菜、てしま天日塩を使った塩から揚げなどが入っています。

アクセス：家浦港から徒歩5分
※1週間前の正午までに要予約

—おすすめの体験

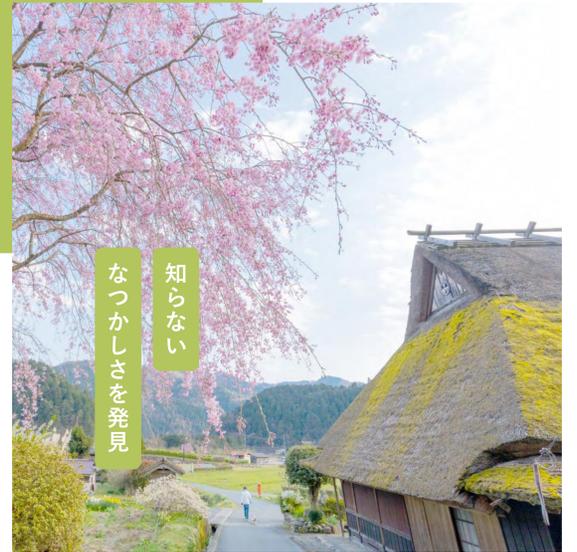
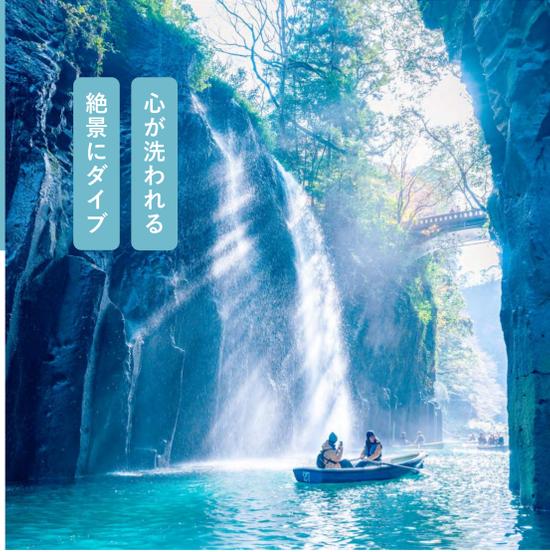
ミニ地引網体験

地元の漁師さんと一緒に、地引網の体験ができます。釣った魚は持ち帰ることができ、その場で調理して食べることもできます。

所要時間：1時間半または3時間
参加人数：2～10名



体験



Do you Know泊?

農泊って
知ってる?



ステイ、ノウハク。 あたららしい故郷を 冒険しよう

はじめまして

まだ私のことを誰も知らない、あたららしい故郷

いつもと違う朝、澄んだ空気

とれたての食材で作られた朝食をゆっくりいただく

ここに住む人と話し、自然の中で体を動かし、

ここで受け継がれている伝統を体験する

大人になった私も、まだ知らないことの方が多い

自分の足で訪れ、自分の手で触れた経験は、

明日へのエネルギーに、きつとなる

ステイ、ノウハク＝農泊

あたららしい故郷があなたを待っています

